



MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から 2面 / 令和4年度の主要な施策と予算 3面 / みたかの教育を知るキーワード / 全学園に小学校の校内通級教室の拠点校を設置しました 4面 / 令和3年度教育委員会表彰 / 学習用タブレット端末を活用したハイブリッド型学習の取り組み ほか

三鷹市教育委員会 ☎0422-45-1151 (市役所代表電話)

令和4年 2022.4.17

令和4年度 教育委員会の基本方針

2月に開催された教育委員会定例会で、令和4年度基本方針を決定しました。主な施策と予算の概要は2面で紹介します。
⇒総務課 ☎29-9811

教育委員会は、「三鷹市教育ビジョン2022(第2次改定)」などにに基づき、子どもたちが「人間力」と「社会力」を主体的に発揮できるよう育むことを目指し、学校教育を推進します。子どもたちが自らの幸せな人生とよりよい社会を創造すること(ウェルビーイングの実現)や誰一人取り残さない一人ひとりを大切にする教育を進めるとともに、「学校3部制」の実現に向けて取り組みます。

また、「三鷹市生涯学習プラン2022(第2次改定)」に基づき、市長部局との連携により、市民一人ひとりが、生涯を通して主体的に学習の機会を選択して学び、豊かな心を育み、学んだことを地域に返し、活動に活かしていくという「学びと活動の循環」の構築を目指します。

教育委員会の行政の 基本目標

「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちづくり」 「創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちづくり」

「三鷹市教育ビジョン2022(第2次改定)」などの個別計画に加え、「当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方」(下記キーワード参照)を踏まえ、次に掲げる7つの施策目標を柱に具体的な施策の推進に取り組みます。

7つの 施策目標

地域とともに、
1 協働する教育を進めます

小・中一貫した
2 質の高い学校教育を推進します

学校の経営力と教員の
3 力量を高め、特色ある学園・学校づくりを進めます

安全で快適な、
4 充実した教育環境を整えます

地域をつなぐ
5 拠点となる学校をつくります

市長部局との連携により、
6 生涯学習の総合的な推進を図ります

地域の情報拠点
7 としての図書館活動を推進します

●人間力

基礎的な素養を身に付け、自立した一人の人間として考え判断し、豊かに力強く生きていくための総合的な力

●社会力

社会とのかかわりを持ち、社会の一員としての役割を果たしつつ、適切な人間関係を結び、共に生きていく力

キーワード

当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方

- ① 個人と社会の幸せ(ウェルビーイング)の実現
- ② 一人ひとりを大切にする教育の実現
- ③ 地域の共有地「コモンズ」としての学校、「学校3部制」の推進

「三鷹のこれからの教育を考える研究会最終報告(令和3年8月)」での提言を受け、三鷹市における当面の教育施策の推進において考慮すべき事項を取りまとめたものです。学校教育の場において重点的に取り組む事項として、3つの視点を挙げています。

「三鷹のこれからの教育を考える研究会最終報告」



「当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方」



教育委員会の活動について

教育委員会では、毎月、定例会を開催し、基本方針の決定や規則の制定改廃などの議案について審議を行っています。また、学校訪問を実施し、学校経営・授業などに対し指導・助言を行うほか、学校の研究発表会や都内教育委員会相互の連絡会に出席するなど、学校の状況や教育行政をめぐる諸課題の把握に努めています。教育委員会の会議の開催予定や会議録は、市ホームページに掲載しています。

令和3年9月～令和4年3月の 主な審議案件と活動

9月

- 三鷹市社会教育委員の委嘱
- 市町村教育委員会オンライン協議会
- 学校訪問(井口小学校)

10月

- 令和3年度一般会計補正予算見積書に係る臨時代理の承認
- 東京都市町村教育委員会連合会第1回研修会
- 第1回総合教育会議
- 学校訪問(南浦小学校)

11月

- 当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方(協議)
- 三鷹市川上郷自然の村の指定管理者の指定の申出

12月

- 三鷹市いじめ問題対策協議会委員の委嘱
- 学校訪問(第三中学校、第四中学校)
- 東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会

1月

- 令和4年度一般会計補正予算見積書
- 東京都市町村教育委員会連合会常任理事会・理事会・理事研修会
- 学校訪問(第六小学校)

2月

- 令和4年度基本方針の承認
- 校長・副校長人事の内申
- 学園長及び副学園長の指名(協議)
- 東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会

3月

- 三鷹市小・中一貫教育校におけるコミュニケーション・スクール委員会に関する規則の一部改正
- 三鷹市教育委員会職員出勤状況記録整理規程の一部改正
- 令和3年度一般会計補正予算見積書に係る臨時代理の承認
- は会議の案件、●は会議以外の活動

↓総務課 ☎29-9811

チヨーク&トーク



教育委員会 委員
ふじみち まさひろ
富士道 正尋

皆さんは、学校の授業と言えどどのような風景を思い出されますか。学ばれていた年代にもよって、様々な風景が思い起こされることと思います。

私の思い出す授業と言えど「黒板の前で先生が一方的に授業を進め、一定の説明が終わると、その説明の内容を黒板にまとめる」という風景を思い出します。私の授業風景はこの「チヨーク&トーク」に尽きると言っても過言ではありません。

今年の1月、国は「教育データ活用ロードマップ」を公表しました。これは、教育のデジタル化により、どのように教育の在り方が変わっていくのかその道筋を中長期にわたり示したものです。キーワードは「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」です。

これまでの「チヨーク&トーク」の一斉型授業から、「個別最適な学び」への大きな転換点を見た思いがしました。

誰でも、広く学べる点では、とても夢があり、様々な可能性を秘めた内容だと思えます。

一方、国の中央教育審議会は「令和の日本型学校教育」の中で、「個別最適な学び」と同時に「協動的な学び」を提唱しています。これは、同じ学年や学級はもとより、異なった学年間での学びや他の学校の子どもの学び合いを通して、お互いの感性や考え方などに触れるとともに、様々な場面で具体的な体験を通して共に学ぶことなどの重要性を示しています。

人は人と触れ合い、共感したり反発したり、様々な経験と失敗の中で多くのことを学んで成長していきます。

「個別最適な学び」か「協動的な学び」か、どちらがいいのかという二者択一ではなく、それぞれの良い点をうまく組み合わせる柔軟な発想と行動が必要だと考えます。

三鷹の子どもたちが、それぞれの夢の実現に向けて日々努力し、やがて、三鷹市だけに止まらず、世界を舞台に活躍できる人材に育っていくことを期待して止みません。

令和4年度の主要な施策と予算

令和4年度の市の一般会計の予算額は750億7,926万2千円で、教育費は93億3,611万3千円（一般会計に占める割合は12.4%）です。教育委員会は事業計画に基づき、次のような施策に取り組んでいきます。
⇒総務課 ☎ 29-9811

教員の授業力向上への支援と共同研究の実施《新規》 300万円

子どもたちを導く教員自らが職業実践を通じて幸せ（ウェルビーイング）を実現できるように、授業力向上への支援として、子どもの最適な学び方、学力の伸びなどの分析や指導法など、授業に関する実践的な調査研究に取り組みます。あわせて、その成果に基づく教員への研修や授業づくりへのアドバイスなどを行います。

また、研究の一環として、令和3年度に教員研修として実施した「三鷹市探究カンファレンス」の成果を踏まえ、令和4年度は、民間の教育機関との共同研究により、子どもの関心を引き出す「興味開発」に特化した授業研究を行います。その成果を発表するとともに、動画などにまとめてアーカイブ化するなど、授業に関するノウハウとして蓄積し、教員全員が活用できるようにします。



スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制のモデル実施《新規》 2,629万1千円

学校施設が地域の共有地「コモンズ」として地域の人材や資源が集う場所となることを目指し、学校施設を機能転換し活用する「学校3部制」（3面参照）の実現に向けモデル事業に取り組みます。

スクール・コミュニティの実現に向けた地域学校協働活動の推進 246万6千円

スクール・コミュニティの創造に向けて、地域学校協働活動の更なる推進を図るため、活動・支援に関する新たな体制のモデル的な構築などに取り組みます。また、コミュニティ・スクール委員会が作成している「学園カレンダー」については、学校を核とした地域づくりをより一層推進するため、名称を「スクール・コミュニティカレンダー」に改め、発行部数を増やし広く地域に配布します。

デジタル・シティズンシップ教育の展開《新規》 324万7千円

児童・生徒1人1台学習用タブレット端末の整備やスマートフォン、SNSなどが急速に普及していることから、児童・生徒がデジタル機器を有効に使用できるように、デジタル・シティズンシップ（情報技術の利用における適切で責任ある行動模範）教育を推進します。子どもと大人が熟議し、まとめた考えを踏まえ、「三鷹市デジタル・シティズンシップ指針（仮称）」を策定するほか、基本的な態度や考え方を児童・生徒が身に付けるための教材を導入します。

教育ネットワークシステムの更新 4,000万円

令和5年度で契約期間が満了となる教育ネットワークシステムの更新を行います。更新に当たっては、セキュリティを確保しながら、一部機能をクラウド環境へ移行するなど利便性の向上を図ります。また、学校における働き方改革の一環としてリモートワーク環境を整備します。

短焦点プロジェクトの設置による教育環境の整備《拡充》 2,178万7千円

児童・生徒1人1台学習用タブレット端末の更なる活用に向けて、市立小・中学校の全普通教室に電子黒板機能付き短焦点プロジェクトを設置し、教材や児童・生徒の考えを一斉提示、共有する環境を整備します。

学習用タブレット端末を活用した授業環境の整備《拡充》 3,466万5千円

児童・生徒数の増、35人学級編制に伴う教員数の増などに伴い、学習用タブレット端末を増設するほか、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の授業環境を整備するため、市立小・中学校の全普通教室にマイクおよびタブレットスタンドを配置します。また、新入生への学習用タブレット端末貸出に伴う作業を業務委託することにより、教員の負担軽減を図るとともに、教員向け研修の実施により、学習用タブレット端末の効果的な活用を進めます。

市内産農産物の活用に向けた食育研究の実施《新規》 38万3千円

学校給食において、食に関する正しい知識や望ましい食習慣などが身に付く食育を推進します。研究校を指定し、地産地消の観点から市内産農産物の更なる活用を図り、子どもたちによる給食メニューの開発を行います。あわせて、保護者に対し講演会を実施し、食育の必要性を啓発します。



学校給食費の公会計化と学校徴収金の一括徴収による事務の効率化《新規》 1,144万円

市立小・中学校の学校給食費の管理における透明性を向上するため、令和5年度からの学校給食費の公会計化の導入に向けて準備を進めます。あわせて、学校における働き方改革の推進と保護者の利便性の向上のため、各校の私費会計である教材費などの学校徴収金についても、学校給食費と一括徴収できる体制の整備に取り組みます。

学校施設長寿命化計画（仮称）の策定 900万円

学校施設の建替えを見据えた効果的・効率的な改修を進めるために、令和4年度策定予定の「新都市再生ビジョン（仮称）」に含めて「学校施設長寿命化計画（仮称）」を策定します。

学校施設の大規模改修工事の実施 4億1,114万6千円

平成30年度の老朽化対策調査結果および現状を踏まえ、早急に対応が必要な箇所について改修工事を実施します（下記参照）。なお、第五小学校について、森林環境譲与税などを活用し、多摩産材の木製ロッカーを導入します。

市立図書館における電子書籍サービスの拡充 856万1千円

みたか電子書籍サービスの利便性の向上を図るため、電子書籍数を拡充するとともに、電子雑誌サービスを新たに導入します。また、利用者の拡大を図るため、使い方講座を開催します。



医療的ケアが必要な児童・生徒への支援 1,377万6千円

発達障がい等教育支援員の配置《新規》 939万4千円

校内通級教室における指導の充実《拡充》（3面参照） 406万1千円

市立小・中学校でのPCR検査の支援 745万8千円

部活動指導員の拡充 2,895万9千円

人権尊重教育推進校事業の実施 35万7千円

授業改善推進拠点校事業の実施 40万円

学校給食の充実と効率的な運営の推進《拡充》 6億2,878万2千円

学校給食用食材の放射性物質検査の実施 38万7千円

学校空調設備の計画的な更新（下記参照） 2億4,700万5千円

学校トイレの改修工事の実施（下記参照） 1億1,426万5千円

安全で快適な学校環境の整備を進めています

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習の場であるとともに、地域の防災拠点としての役割を担う施設でもあります。教育委員会では、学校施設や設備を計画的に改修し、安全で快適な学校環境の整備を進めています。 ⇒総務課 ☎ 29-9812

● 空調（冷暖房）設備改修工事

- 老朽化した空調（冷暖房）設備を改修します。
- 建替えなどに伴って一斉に整備した空調設備を計画的に改修します。
令和4年度の工事实施校
第一小学校（Ⅰ期） 高山小学校（Ⅲ期）
- 普通教室に先行して整備した特別教室（音楽室、図書室）などの空調設備を改修します。
令和4年度の工事实施校

第二小学校（図書室）	井口小学校（音楽室、図書室）
第五小学校（音楽室）	第一中学校（給食室）
第六小学校（音楽室、図書室）	第二中学校（図書室）
第七小学校（図書室、ポプラ学級）	第五中学校（図書室）
大沢台小学校（音楽室、図書室）	第六中学校（図書室）
南浦小学校（音楽室、図書室）	第七中学校（音楽室、図書室）

● トイレ改修工事

- 学校トイレの早期洋式化などを計画的に推進します。
令和4年度の工事实施校
第三小学校（校舎） 大沢台小学校（校舎Ⅰ期）
第六小学校（ふじみ校舎） 南浦小学校（校舎Ⅰ期）
第七小学校（校舎、体育館）



洋式化工事を行った学校トイレ

● 老朽化対策調査結果を踏まえた改修工事

- 早急に対応が必要な箇所について改修工事などを実施します。
令和4年度の工事实施校
第五小学校（Ⅱ期） 第二中学校（Ⅰ期）

工事期間中は児童・生徒、保護者および近隣の皆様にはご不便をおかけしますが、安全確保を第一に進めますので、ご理解とご協力をお願いします。

みたかの教育を知る キーワード

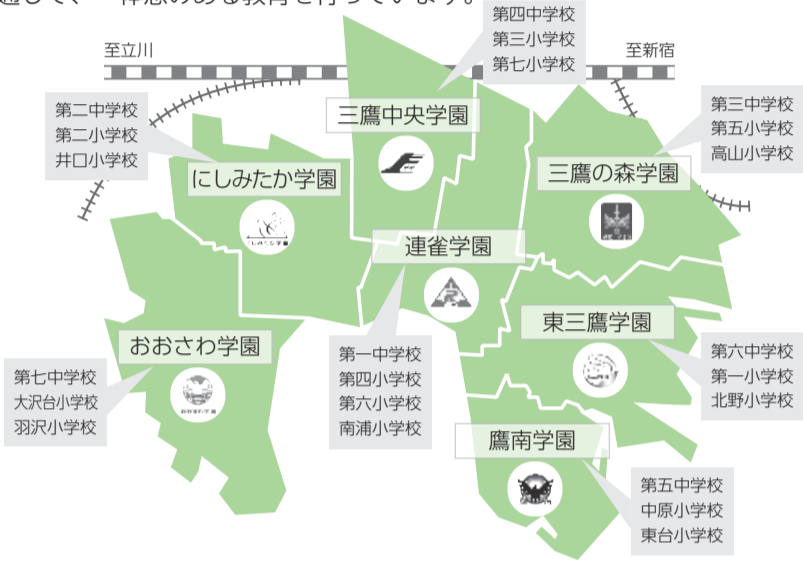
三鷹市では、全国に先駆けて「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」に取り組んできました。ここでは、みたかの教育についてより深く知るためのキーワードとして、これまで取り組んできた「小・中一貫教育」「コミュニティ・スクール」に加えて、これらを踏まえて、現在取り組みを進めている「スクール・コミュニティ」「学校3部制」について解説します。 ⇨教育政策推進室 ☎ 29-8349

小・中一貫教育やコミュニティ・スクール、スクール・コミュニティについてマンガで解説したリーフレットを作成しました。



●小・中一貫教育と7つの学園

学校の建物は別ですが、小・中一貫教育校として、子どもたちの9年間の学びに責任をもち、「三鷹市小・中一貫カリキュラム」に基づく授業を行っています。この中学校(1校)+小学校(2、3校)で構成される小・中一貫教育校が「学園」です。三鷹市には7つの学園があります。教員は学園内の全ての学校に所属しており、小・中の乗り入れ授業や、小・中、小・小の交流を通して、一体感のある教育を行っています。



学園での班活動の様子



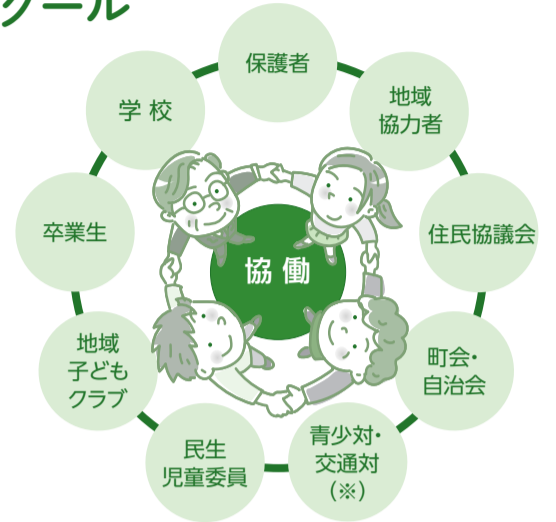
小・中交流の様子

●コミュニティ・スクール

学校・家庭・地域がともにつくる学校です。家庭、地域が学校運営に参画するための仕組みとして、学園ごとに学校の運営について協議する「コミュニティ・スクール委員会」を設置しています(※)。コミュニティ・スクール委員には、学校関係者と保護者のほか、地域の関係団体や協力者など、学園を支えてくださっている方がメンバーになっています。

コミュニティ・スクール委員会では、学園・学校の方針を承認したり、評価をしたり、協議を通じて、学校とともに当事者として学校運営に参画します。地域の子どものために、何ができるかみんなで考え、子どもたちを通わせたい学園・学校づくりを実践しています。

(※)「コミュニティ・スクール委員会」は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」における「学校運営協議会」です。



(※) 青少年対策地区委員会
交通安全対策地区委員会



コミュニティ・スクール委員会での熟議の様子



保護者や地域の方々が協力することで先生方だけではできない子どもたちの学びの充実が図られているんですね。

●スクール・コミュニティ

スクール・コミュニティは、学校やそこに通う子どもたちをきっかけにしたコミュニティ、つながりのことです。コミュニティ・スクールにおける協議や支援を通じて、保護者や地域の方々同士の交流が生まれます。こうした交流でできるつながり＝スクール・コミュニティを広げ、より多くの人の協力を得て、子どもたちの学びや地域を更に豊かにしていこうとしています。

コミュニティ・スクールと何が違うの？



コミュニティ・スクールは家庭や地域が参画してより良い学校づくりを目指します。
スクール・コミュニティは「学校づくり」を通して、他の多様なコミュニティとつながっていく「地域づくり」を目指します。

学校や子どもたちに関わる活動をする中で、新しい出会いや経験ができ、学びや成長につながったり、地域の中での交流が増えたり、個人と社会の幸せ(ウェルビーイング)の実現に貢献していきます。

●学校3部制

スクール・コミュニティの創造・発展に向けては、学校とつながりをもつ機会を増やすことも重要です。このため、より地域に開かれた、地域みんなの学校、地域の共有地「コモンズ」としての学校に移行していくことを目指しています。具体的には、学校施設を時間帯に応じて機能転換し、学校教育の場(第1部)、多様で豊かな体験・経験ができる放課後の場(第2部)、夜間などにおける生涯学習・スポーツ・地域活動など、大人を主とした多様な活動の場(第3部)として活用する「学校3部制」の実現に向け、市長部局と連携しながら取り組みを進めていきます。



第1部 学校教育の場

第2部 放課後の場



第3部 多様な活動の場

全学園に小学校の校内通級教室の拠点校を設置しました

校内通級教室では、他者とのコミュニケーションなど学校生活を送るうえで課題がある児童・生徒などを対象に、各自の課題に応じて個別や小集団での指導を行い、自信を持って学校生活を送れるよう支援しています。三鷹市では、市立小・中学校全校に校内通級教室を設置し、担当教員が拠点校から各校へ巡回して指導を行っています。令和4年4月に、中原小学校と羽沢小学校を新たな拠点校として整備しました。これにより、小学校は全学園に拠点校を設置しましたので、児童・生徒の学級担任と校内通級教室の担当教員とのよりきめ細やかな連携による、一人ひとりの特性に合わせた指導や支援ができるようになります。

⇨学務課 ☎ 29-9865

市立小学校の校内通級教室の仕組み



校内通級教室の一覧 小学校

拠点校		巡回校
連雀学園	南浦小 むつみ教室	第四小 第六小
東三鷹学園	北野小 けやき教室	第一小
鷹南学園	中原小 むらさき教室 新設	東台小
三鷹の森学園	第五小 つばさ教室	高山小
三鷹中央学園	第七小 ポプラ教室	第三小
にしみたか学園	第二小 さくら木教室	井口小
おおさわ学園	羽沢小 せせらぎ教室 新設	大沢台小

※中学校においては、第二中および第六中を拠点校として、巡回指導・支援を行っています。

校内通級教室への入室などのご相談は、各校で受け付けています。

おめでとうございます 令和3年度 **教育委員会表彰**

教育委員会では、毎年、競技会やコンクールなどで著しい成果をおさめたり、ボランティアや地域活動を継続して実践したりするなど、他の模範となる活躍をした市立小・中学校の児童・生徒の表彰を行っています。令和3年度は、13人の皆様が表彰を受けました。 ☎総務課 29-9811

表彰された皆様

ひの まいこ
白野 舞子 さん (三小・4年)
全国英語歌唱コンクール～English Vocal Election vol. V～ 関東エリア グループの部 Junior B部門 第2位

よしだ とらま
吉田 透真 さん (四小・5年)
第42回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 小学生の部 優勝

たにくち うるる
谷口 潤留 さん (五小・4年)
全国英語歌唱コンクール～English Vocal Election vol. V～ 関東エリア グループの部 Junior B部門 第2位

いしがみ そうた
石上 想大 さん (六小・6年)
2021 フジパンCUP 第45回関東U-12サッカー大会 第3位

おおたに あらた
大谷 新太 さん (六小・6年)
JFA 第45回全日本U-12サッカー選手権大会 第3位

あおき なぎさ
青木 渚紗 さん (中原小・4年)
全国英語歌唱コンクール～English Vocal Election vol. V～ 関東エリア グループの部 Junior B部門 第2位

さかづめ たいせい
酒詰 泰成 さん (北野小・6年)
令和3年度神奈川県少年少女ハンドボール大会 優勝

おおた かずき
太田 和牙 さん (一中・2年)
第11回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 全国大会 自由曲コース中学生部門 銀賞

えちぜん や ひろむ
越前谷 洋武 さん (二中・3年)
第67回全日本中学校通信陸上競技東京都大会 男子1500m 第3位

おの
小野 さら さん (五中・2年)
第60回書き初め紙上展 東京都教育委員会賞

いその まゆ
磯野 真優 さん (五中・3年)
第45回関東中学校水泳競技大会 女子200m平泳ぎ 第1位

ほそい
細井 ひかり さん (五中・3年)
第71回"社会を明るくする運動"作文コンテスト 東京保護観察所長賞

かとう ゆらら
加藤 結音 さん (六中・3年)
第61回全国中学校水泳競技大会 女子50m自由形 第6位



※ ()内の学校・学年は表彰当時のもの

学校の対面授業とオンライン家庭学習の組み合わせで深まる学び

学習用タブレット端末を活用したハイブリッド型学習の取り組み

令和2・3年度三鷹市教育課題研究協力校に指定された東台小学校では、1人1台の学習用タブレット端末を活用し、学校での対面授業とオンラインによる家庭学習を組み合わせた授業形態(ハイブリッド型学習)の研究開発をしてきました。

学校全体で授業改善に取り組んできた同校は、令和2年3月、新型コロナウイルス感染症の拡大により全国の学校が臨時休校となった中で、子どもたちの学びを止めないために、他校に先駆けて、各家庭で過ごす6年生と学級担任をオンラインでつなぐ取り組みを実施しました。

令和3年1月に1人1台の学習用タブレット端末が整備され、同校では、この学習用タブレット端末を活用した子どもたちの自律的、能動的な学びの推進に向け、以下の研究に取り組みました。



学習用タブレット端末を活用した授業の様子

自律的、能動的に学ぶ力を育てる

振り返り

授業で学んだことを家庭学習で振り返ります。課題に対する思考を授業時間中だけにとどめず、家庭と学校を循環するような学びを実現します。

探究する

子どもたちの問いを引き出すような問題をタブレット端末に配信し、各自が家庭で考えたうえで授業に臨みます。学習の導入を家庭学習から始める取り組みです。

自律的な学びを更に深める

反転学習

家庭で教科の基礎基本の復習や予習的な学習を行い、対面授業での問題解決学習を充実させます。

補習・定着

各自が自分の苦手など個々の課題に応じて、家庭でAIドリルや動画教材などを活用し、能動的に自学自習に取り組みます。

令和4年2月25日、「対面授業と家庭学習の一体化を目指したハイブリッド型学習～子どもの知的葛藤から探究心を引き出す問題解決学習を通して～」と題した研究発表を行い、これらの取り組みを市立小・中学校の教員や地域の方に紹介しました。

教育委員会では、この取り組みを市立小・中学校全校で共有し、子どもたちの「個別最適な学び」を深めていきます。 ☎指導課 29-9819

研究紀要
(東台小学校
ホームページ)



「**テーマ図書**」で新たな本と巡り合おう

市立図書館では、全館で「テーマ図書」の展示コーナーを設けています。一般図書は各館異なるテーマで、児童図書は全館共通のテーマで、季節や時勢などに合わせて毎月テーマを設定し、テーマに沿って選書した本を展示しています。展示されている図書は、もちろん借りることもできます。



新たな本との出会いのチャンスです！ぜひご利用ください。

☞三鷹図書館(本館) ☎43-9151 児童テーマ図書コーナー(本館)

6月までのテーマ図書一覧

一般テーマ図書(本館)	児童テーマ図書(全館)
LGBTQを知ろう!	あそぼう
十人十色!	むし
数	てんきのほん

※これまでのテーマと紹介した図書の一覧は市立図書館ホームページに掲載しています。



図書館オリジナル手ぬぐい好評販売中!

価格 各色1,000円(桃色と緑色の2色)
販売場所 市立図書館各館カウンター
※移動図書館ひまわり号での販売は職員にお尋ねください。



令和5年度から第三小学校で**指定校変更の一部制限を行います**

お住まいの地域の指定校以外の学校への就学を希望する場合は、教育委員会が定めた基準に照らし、学校の変更が相当と認められ、受け入れる学校に支障がない場合に限り、指定校を変更することができます。

第三小学校は、年々在籍児童数が増加し、教室数に不足が生じる見込みです。そのため、令和5年度転入学から当面の間、通学距離を理由とした第三小学校への指定校変更の制限を行います(新入学時に兄弟が第三小学校に在籍している場合などは、これまでと同様、指定校変更を申請することができます。)
※令和4年4月現在、井口小学校、高山小学校および下連雀5-1-1の地域は同様の理由で指定校変更の制限を行っています。

☞学務課 ☎29-9814

紹介したホームページなどは、記事内の二次元コードからもアクセスできます。